

一般社団法人 National Clinical Database
2016 年度事業計画書

National Clinical Database（以下 **NCD**）は臨床現場の医療情報を体系的に把握し、医療の質の向上に資する分析を行う。その結果を以て一般市民に最善の医療を提供し、適正な医療水準を維持することを目的とする。本年度は、以下の社会事業を実施する。

（1）医療情報を集積したデータベースの維持管理及び提供について

- **NCD** 症例登録システムの入力仕様の要望を各学会より受け付け、その改訂を行う。
- 多様な入力仕様要望を満たすべく、ソフトウェア品質を確保しながら効率的な開発を推進する。ソフトウェア品質の確保に向けて **ISO9000** シリーズの取得を検討する。
- **NCD** 登録症例データを利用した集計・分析結果を確認できるフィードバック機能の開発を行う。

（2）データベースを活用した医療水準の評価及び臨床研究の支援について

- 各領域の研究プロジェクト、学術調査、アニュアルレポートに寄与する。
- **Web** オーディット、**E** ラーニングのコンテンツづくりに寄与する。

（3）データベースの運用による関連団体との業務連携について

- 専門医制度等と連携した各種申請システムの維持管理及び開発を行う。
- 独自運用してきたデータベースを **NCD** に移行する技術的検討及び開発を行う。
- 経カテーテル大動脈弁治療（**TAVI**）用生体弁「サピエンスXT」の使用成績調査について、**TAVR** 関連学会協議会が実施する **TAVR** 症例登録事業と引き続き連携して行う。
- 市販後調査（脳神経外科領域の **FlowDiverter** 等）に伴う症例登録システムの開発、関連業務を行う。
- **PMDA**（独立行政法人医薬品医療機器総合機構）に関連した再生医療患者登録システムの運用設計を行う。

（4）法人の目的を達成するために必要な関連事業ならびに業務について

- データの質の検証業務（施設訪問、手術件数調査等）。
- 施設会費の問い合わせ業務、会員登録に伴う業務。
- 社員学会の入社手続き業務（日本泌尿器科学会）。
- **NCD** の業務内容を考慮したリスク管理や効果的な情報セキュリティ対策として、情報セキュリティマネジメントシステム（**ISMS:ISO27001**）の認証取得を検討。